

前略、この度は母の交通事故の慰謝料の裁判を引受けと頂いてありがとうございます。私は母の姉と申しませう。

最初に保険会社から提示された金額と、亡くなった母に対しての「今回のおかげ」という文章に強い怒りを感じました。その後二回程交渉がりましたが、おびん待たせてからちよとあつ上乗せしてくるやり方は納得できるものではなく、決して欲を出したのではなく、このまま泣き寝入りじゃなくと戦いたいと弁護士さんにお願いするに至りました。

相手が外資系ということが一筋縄じゃいかないやり取りがあったこと、その都度弟から聞いてあります。思ったより時間もかかり、私もこれ以上やっても馬目

なんじやないかと諦めかけましたが、最後まで粘り強く戦って頂いて、最初の金額からは考えられない高額の慰謝料を引き出して頂いて本当に感謝しています。

お陰様で母が残してしまつたマイタスの遺産をきいに出来て、母が一番心配していた弟家族にも道筋が出来ます。私も自分の子とも達にしてあげたくとも出来なかつた事をしてあげられ、亡くなった母からの最後の贈り物だと思っています。

本当に弁護士さんにお願ひして良かったと思っています。本当にありがとうございました。

H26.6.9